手話言語条例を制定

～ろう者の自立した日常生活及び社会参加の機会の確保～
 ～手話により十分なコミュニケーションを図ることができる環境整備～

平成30年12月定例会は、12月3日から21日まで開かれ、人事、計画の策定、条例、指定管理者の指定、補正予算、陳情、議員提出議案など、合計39件を審査しました。主な議案の内容は以下のとおりです。各議案の表決結果は5ページをご覧ください。

人事

▼知立市教育委員会委員の任命について

竹内博之さん（八橋町）
 太田佐帆子さん（長篠町）

▼人権擁護委員候補者の推薦について

高木洋子さん（新富）
 高橋敦子さん（昭和）

計画

▼第3次知立市男女共同参画プランの策定について

本市における今後10年間の男女共同参画の推進を図るため、多様な考えや価値観を受けとめ、性別にかかわらず、あらゆる人が個性や能力を活かして活躍できる社会を実現するため策定するもの。

▼知立市新水道ビジョンの策定について

水道事業を取り巻く環境の変化に対応するため、今後10年間の中期的水道事業経営基盤の強化を図るとともに、安全な水を安定供給し続けられる水道の供給基盤の確立を目指すため策定するもの。

条例

▼知立市事務分掌条例の一部改正

本市の行政組織の一部の改組を行うにあたり、主に次に掲げる事務分掌を加えるもの。

①企画部
 ・企業立地の推進に関すること
 ※条例改正に伴うその他の事務の見直しは以下のとおりです。

②市民部
 ・一般旅券の交付等に関すること
 ・知立駅周辺の交流推進・賑わい創出に関すること。
 平成31年4月1日施行。

▼知立市議会の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

▼知立市特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部改正
 以上2件、平成30年の人事院勧告に鑑み、議員、市長、副市長及び教育長の期末手当の額を改正するもの。年0・05月の引き上げ。

▼知立市職員の給与に関する条例の一部改正

平成30年の人事院勧告に鑑み、額を改正するもの。平成30年（平成30年）12月21日施行
 以上、平成30年4月1日施行
 度分以降は、31年4月1日施行。

▼知立市長の選挙におけるビラの作成の公営に関する条例の一部改正

公職選挙法の一部改正により、地方議会の議員選挙において、ビラの作成の公営対象となる選

挙に、議会の議員の選挙を加えるもの。
 平成31年3月1日施行。

▼知立市手話言語条例
 手話が言語であるという認識に基づき施策を推進し、ろう者らと共生する社会の実現を目指すことを目的とし制定するもの。
 平成30年12月21日施行。

▼知立市基金条例の一部改正
 資金運用基金に知立市一般旅券収入印紙購入基金を加えるもの。
 平成30年12月21日施行。

▼知立市水道事業の設置に関する条例の一部改正
 水道事業の業務に関する負担付きの寄附又は贈与の受領及び損害賠償の額の決定で議会の議決を要することとして、従来10万円以上の範囲について、従来50万円以上へ引き上げるもの。
 平成31年4月1日施行。

▼知立市下水道事業の設置等に関する条例
 本市の下水道事業に地方公営企業法の財務規定等を適用し、その会計方式を企業会計方式とするもの。また、財務規定等適用に伴い必要となる事項を定めるもの。
 平成31年4月1日施行。